

溶剤系 2 液型ポリウレタン樹脂高硬度塗料

ボウジンテックス



JIS K 5970



建物用床塗料 上塗り  
認証番号 JP0508057  
ホルムアルデヒド放散等級  
F☆☆☆☆

# #5000Uハードコート

BOUJINTEX #5000U HARD COAT

## 最高クラスの硬度と耐摩耗性

鉛・クロムフリー

ボウジンテックス #5000U ハードコートは、ポリウレタン樹脂の優れた耐摩耗性、高硬度および耐汚染性を持つ2液型ポリウレタン樹脂床用塗料です。また塗り重ねが容易な速乾タイプで、冬季の低温下にも対応する作業性のよい高級塗料です。



### 特長・用途

#### 特長

F☆☆☆☆

ホルムアルデヒドの発散は少ない  
建築基準法、建築材料の区分は規制対象外となっている

- 1 タイヤマーク付着を防止する優れた耐汚染性
- 2 酸、アルカリ等への優れた耐薬品性
- 3 低温下でも早い乾燥性
- 4 シンナー希釈の必要がない既調合タイプ

#### 用途

- 1 耐タイヤマーク性の要求される工場床
- 2 耐摩耗性及び耐久性が要求される倉庫、工場
- 3 防塵性及び耐油性が要求される工場床
- 4 耐摩耗性、防滑性が要求される屋内パーキング



一般工場・倉庫



電気室・ボイラー室



機械工場



自動車修理工場



屋内パーキング



化学薬品工場・印刷工場



食品工場

### 性能

試験項目	試験方法	結果
鏡面光沢度	JIS K 5600-4-7に準ずる。 ガラス板に塗付200μm	90以上
引っかかり硬度 (鉛筆法)	JIS K 5600-5-4に準ずる。 すり傷	2H
耐摩耗性 (mg/摩擦輪法)	JIS K 5600-5-9に準ずる。 摩耗輪CS-17荷重500g×2,1000回転	70±5
耐水性	JIS K 5600-6-2に準ずる。 水道水に7日間浸せき	異常なし
耐アルカリ性	JIS K 5600-6-1に準ずる。 炭酸ナトリウム5%水溶液に48時間浸せき	異常なし
耐酸性	JIS K 5600-6-1に準ずる。 硫酸5%水溶液に48時間浸せき	異常なし
耐温水性	JIS K 5600-6-1に準ずる。 50℃温水に48時間浸せき	異常なし
ホルムアルデヒド 放散量	JIS K 5970 デシケーター法	0.12mg/L以下 F☆☆☆☆

### 荷姿

#### 上塗り材

ボウジンテックス #5000Uハードコート.....15.5kgセット  
(主剤 7.5kg 硬化剤 8kg)

ボウジンテックス #5000Uハードコート.....31kgセット  
(主剤 15kg 硬化剤 16kg)

#### 中塗り材

ボウジンテックス #5000U.....17kgセット  
(主剤 15kg 硬化剤 2kg)

ボウジンテックス #5000U.....4kgセット  
(主剤 3.5kg 硬化剤 0.5kg)

#### 下塗り材

ボウジンテックス 強化シーラー.....16kg・4kg

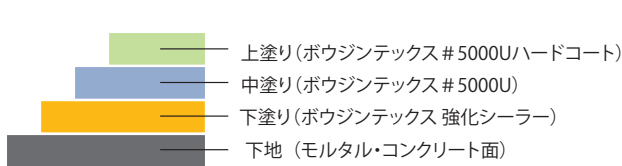
#### 希釈剤

ボウジンテックス #5000Uシンナー.....16L・4L

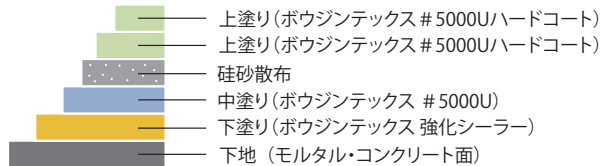
#### 副資材

歩行用防滑骨材.....300g

①平滑仕上げ



②防滑仕上げ



塗装仕様

■モルタル・コンクリート面 ①平滑仕上げ

工程	使用塗料	希釈率	塗装方法	塗回数 (回)	塗分量 (kg/㎡/回)	塗面積 (㎡/缶セット)	可使用時間 (23℃)	塗装間隔 (23℃)		
								工程内	工程間	歩行可能
素地調整	新設のコンクリート面では、夏季30日以上、冬季40日以上養生乾燥させ（モルタル面では夏季14日以上、冬季20日以上）、表面層の水分率5%以下（デジタル水分計）とする。表面層にレイタンスや緻密層があると付着不良の原因となるため、必ずポリリッシャーまたはライナックス等で下塗りが含浸する下地面になるまで目粗しを行い、次いで丁寧に清掃する。既設モルタル・コンクリート面では、油分・ゴミ・ホコリ・泥等を丁寧に除去・清掃し、充分乾燥させる。また、クラック・不陸等は下塗り工程後、あらかじめエポキシパテ等で充填する。									
下塗り	ボウジンテックス 強化シーラー 16kg	0～10% (#5000Uシンナー)	ハケ ローラー	1	0.12～0.16	100～133	—	—	4h以上 24h以内	—
中塗り	ボウジンテックス #5000U 主剤 15kg 硬化剤 2kg	10～20% (#5000Uシンナー)	ハケ ローラー	1	0.14～0.17	100～121	6h以内	—	1h以上	—
上塗り	ボウジンテックス #5000Uハードコート 主剤 7.5kg 硬化剤 8kg	無希釈	ハケ ローラー	1	0.12～0.16	97～129	6h以内	—	—	16h以上 完全硬化2日以上

※塗分量にシンナーは含まれていません。塗分量は条件によって増減します。 ※下塗りの吸い込みがはげしい場合は2回塗りをしてください。  
 ※中塗り時に歩行用防滑骨材を混合することにより、軽歩行用防滑仕上げが可能です。（添加量：300g/17kgセット） ※隠ぺい性向上のため、ボウジンテックス #5000Uを中塗りとして使用します。

②防滑仕上げ

工程	使用塗料	希釈率	塗装方法	塗回数 (回)	塗分量 (kg/㎡/回)	塗面積 (㎡/缶セット)	可使用時間 (23℃)	塗装間隔 (23℃)		
								工程内	工程間	歩行可能
素地調整	新設のコンクリート面では、夏季30日以上、冬季40日以上養生乾燥させ（モルタル面では夏季14日以上、冬季20日以上）、表面層の水分率5%以下（デジタル水分計）とする。表面層にレイタンスや緻密層があると付着不良の原因となるため、必ずポリリッシャーまたはライナックス等で下塗りが含浸する下地面になるまで目粗しを行い、次いで丁寧に清掃する。既設モルタル・コンクリート面では、油分・ゴミ・ホコリ・泥等を丁寧に除去・清掃し、充分乾燥させる。また、クラック・不陸等は下塗り工程後、あらかじめエポキシパテ等で充填する。									
下塗り	ボウジンテックス 強化シーラー 16kg	0～10% (#5000Uシンナー)	ハケ ローラー	1	0.12～0.16	100～133	—	—	4h以上 24h以内	—
中塗り	ボウジンテックス #5000U 主剤 15kg 硬化剤 2kg	10～20% (#5000Uシンナー)	ハケ ローラー	1	0.14～0.17	100～121	6h以内	—	1h以上	—
珪砂散布	中塗り乾燥までに5～6号珪砂を0.1～0.3kg/㎡均一に散布する。									
上塗り	ボウジンテックス #5000Uハードコート 主剤 7.5kg 硬化剤 8kg	無希釈	ハケ ローラー	2	0.12～0.16	48～65	6h以内	1h以上	—	16h以上 完全硬化2日以上

※塗分量にシンナーは含まれていません。塗分量は条件によって増減します。 ※隠ぺい性向上のため、ボウジンテックス #5000Uを中塗りとして使用します。  
 ※下塗りの吸い込みがはげしい場合は2回塗りをしてください。

カラーサンプル

No.6	オレンジ	No.17	ベージュ	No.10	グリーン
No.1	オレンジブラウン	No.16	ライトベージュ	No.9	ライトグリーン
No.20	ブラウン	No.32	グレー	No.21	フレッシュグリーン
No.28	ゴールドブラウン	No.19	ライトグレー	No.23	オリーブ
No.27	モカブラウン	No.24	アクアグレー	No.30	フィーバーグリーン
No.26	サンドベージュ	No.25	ブルーグレー	No.22	ハーモニーグリーン

注) この色見本は印刷によるもので現物の色とは差があります。発注の際は色見本帳または塗り板で色を確認してください。

注意事項

【仕様全般】

- 気温5℃以下、相対湿度80%以上、降雨・降雪・結露が予想されるときは、硬化不良を起こすことがありますので施工を避けてください。
- ボウジンテックス #5000Uハードコートは、直射日光により変色しますので外部への塗装は避けてください。なお、日差しの入り込む窓際の塗装もご注意ください。
- モルタル・コンクリート養生後、多量の水がこぼれた箇所は1週間程度充分に乾燥させてください。
- 塗装や塗料取り扱い時には、換気に気を付け火気厳禁としてください。また、溶剤中毒には充分ご注意ください。
- 換気が不十分である場合、乾燥が遅れるおそれがあります。
- 静電気をきらう床には塗装しないでください。
- 軽歩行用防滑仕上げを行う場合は、歩行用防滑骨材をご使用ください。
- 化学物質過敏症の人は、塗料に含有している化学物質（VOC等）に過敏に反応される可能性がありますので、充分ご注意ください。
- 塗装による臭気で、近隣に迷惑を掛けることがありますので、充分に配慮をお願いします。
- 製品の安全に関する詳細な内容については、製品安全データシート（SDS）をご参照ください。
- 施工時および施工終了後において、充分な換気を行ってください。
- 小分けする場合は、充分攪拌して均一の状態にしてから行ってください。色浮き・色違いや硬化不良等の原因となります。
- 市販の希釈用塗料シンナーには多種のシンナーがあり、適しなものもありますので、必ず専用シンナーをご使用ください。
- 硬化剤はイソシアネート含有しているため、蒸気・ミスト等を吸い込まないようにしてください。また、皮膚に付着しないよう充分ご注意ください。
- 2液型塗料の、主剤と硬化剤は別々に密栓し冷暗所に保管してください。また、開栓後は早目に使い切ってください。
- 材料の保管・取扱いは消防法・労働安全衛生法に基づき充分な管理をお願いします。

【塗料に関する注意】

- 使用前には充分攪拌してください。
- 溶剤系塗料は、溶剤の影響により内圧が上がっている可能性がありますので開栓時は充分ご注意ください。
- 水、アルコール系溶剤の混入は絶対に避けてください。（専用シンナーをご使用ください。）
- 2液型塗料の主剤と硬化剤の混合は必ず既定の割合割合で混合し、マゼール等で充分攪拌してください。
- 2液型塗料は、塗料ごとの可使用時間内に塗装してください。また、気温が高い場合極端に可使用時間が短くなりますので、手際よく塗装してください。



水谷ペイント株式会社

大阪市淀川区西三国4丁目3-90 ☎06(6391)3151  
 東京・北関東・中部・大阪・広島・福岡・仙台・札幌  
 カタログ掲載の内容は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。